

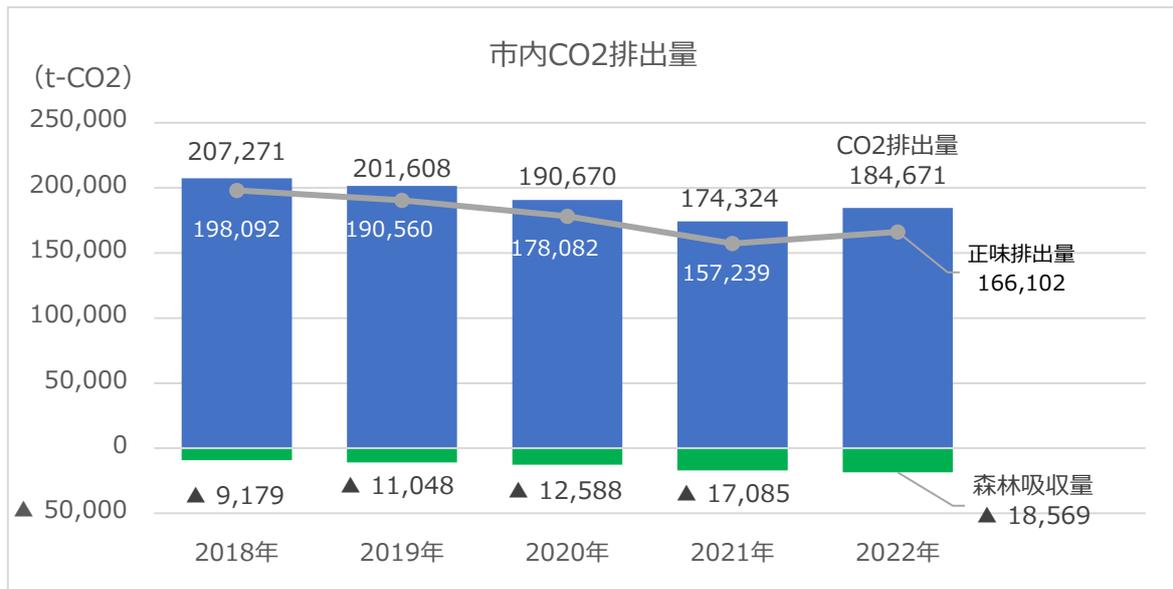
## 第3次宍粟市総合計画（前期基本計画）策定に関する資料

### 〔参考資料〕

#### 【基本目標2】 快適に暮らせる安全安心のまち

	頁
1 市内 CO2 排出量 . . . . .	1
2 都市計画区域内人口	
3 路線バス利用者数 . . . . .	2
4 消防団員数	
5 空き家実態調査結果 . . . . .	3
6 高齢者による人身事故発生件数	
7 市民1人1日あたりごみの排出量 . . . . .	4
8 消費生活相談時に、既に支払いを している人の割合	
9 【KGI】目標値設定の考え方 . . . . .	5

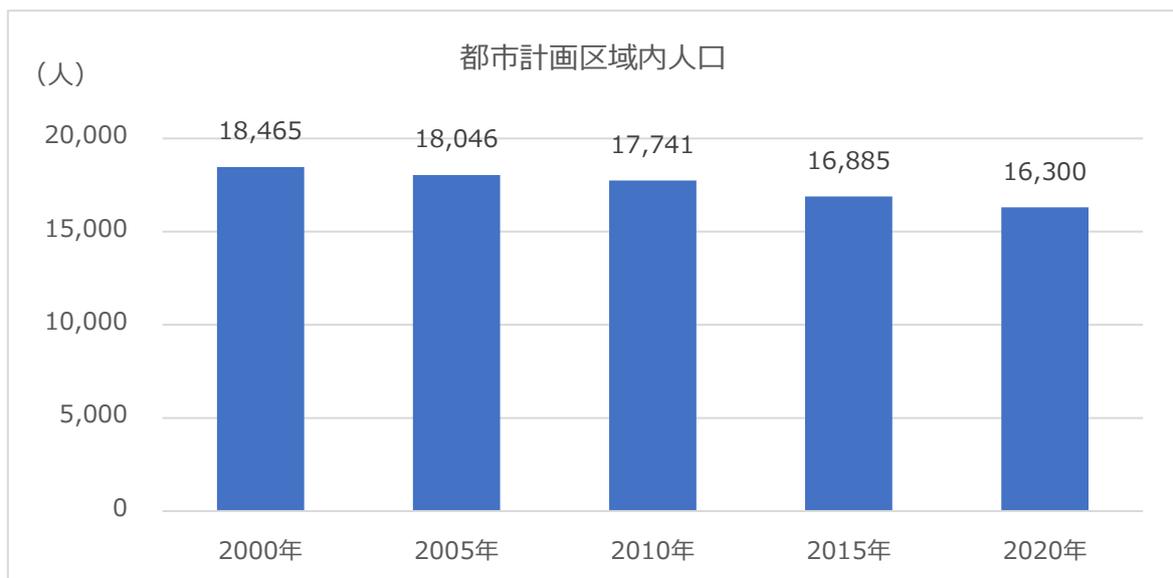
## 1 市内 CO2 排出量の推移 (KGI)



年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
CO2排出量	207,271	201,608	190,670	174,324	184,671
森林吸収量	▲ 9,179	▲ 11,048	▲ 12,588	▲ 17,085	▲ 18,569
正味排出量	198,092	190,560	178,082	157,239	166,102

[担当課保有台帳より作成]

## 2 都市計画区域内人口 (KGI)



年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
都市計画区域内人口	18,465	18,046	17,741	16,885	16,300

[国勢調査結果より作成]

### 3 路線バス利用者数

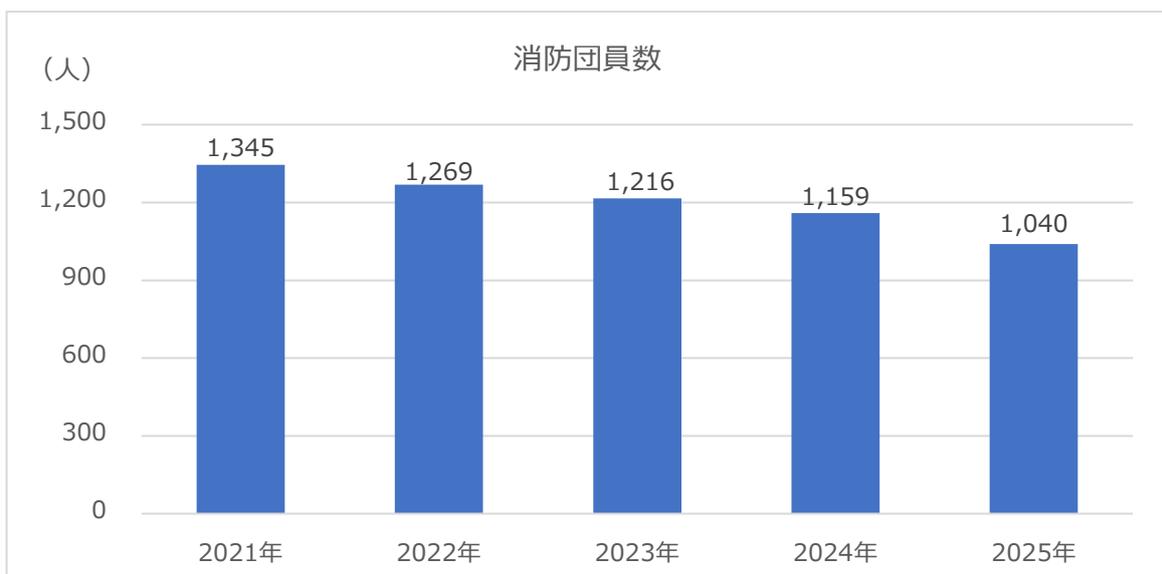


(人)

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
路線バス利用者数	286,163	236,529	225,865	226,031	230,916

[担当課保有台帳より作成]

### 4 消防団員数 (KGI)

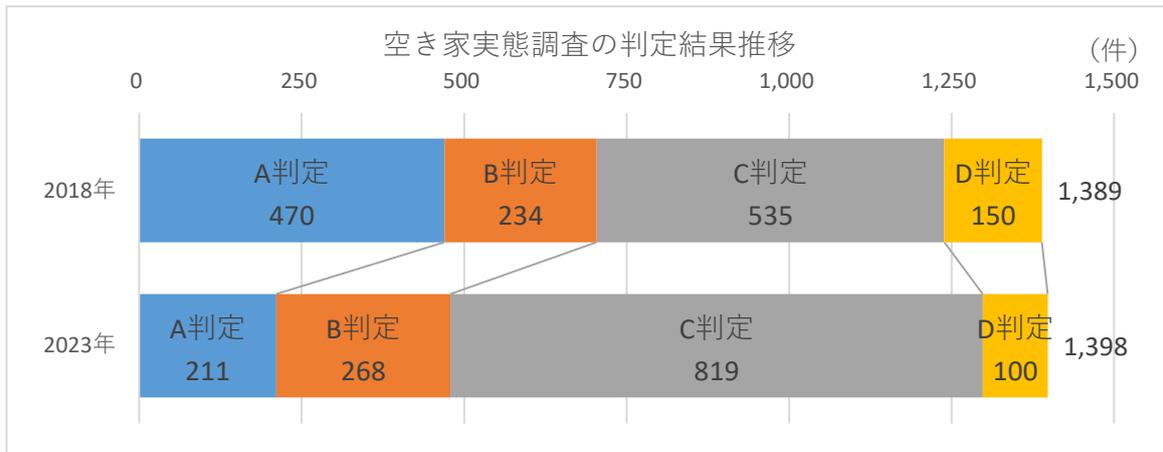


(人)

年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
消防団員数	1,345	1,269	1,216	1,159	1,040

[担当課保有台帳より作成]

## 5 空き家実態調査結果



(件)

判定区分	A判定	B判定	C判定	D判定	合計
2018年	470	234	535	150	1,389
2023年	211	268	819	100	1,398

A判定…小規模の修繕により再利用が可能

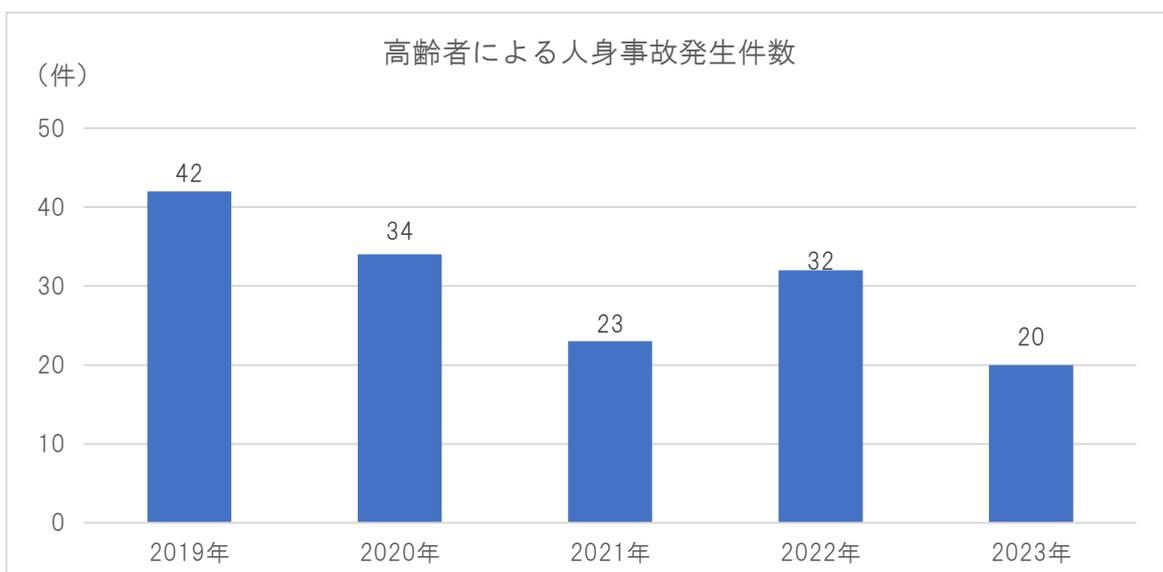
B判定…管理が行き届いておらず損傷もみられるが、当面の危険性はない

C判定…今すぐにでも倒壊や建築材の飛散等の危険性はないが、管理が行き届いておらず損傷が激しい

D判定…倒壊や建築材の飛散など危険が切迫しており、緊急度が極めて高い

[担当課保有台帳より作成]

## 6 高齢者による人身事故発生件数

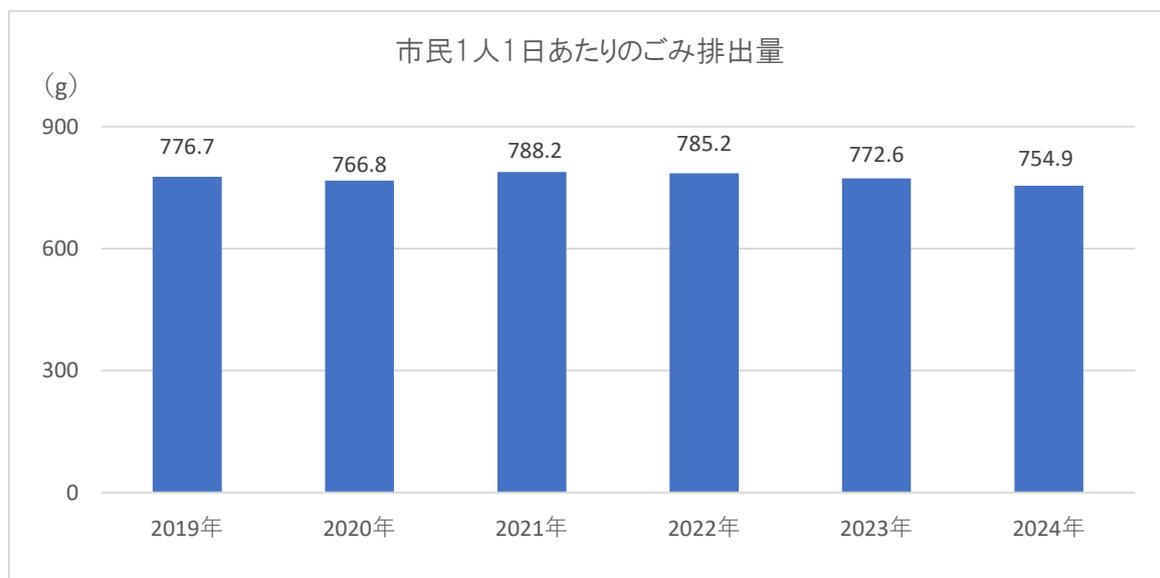


(件)

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
高齢者による人身事故発生件数	42	34	23	32	20

[担当課保有台帳より作成]

## 7 市民1人1日あたりのごみ排出量 (KGI)

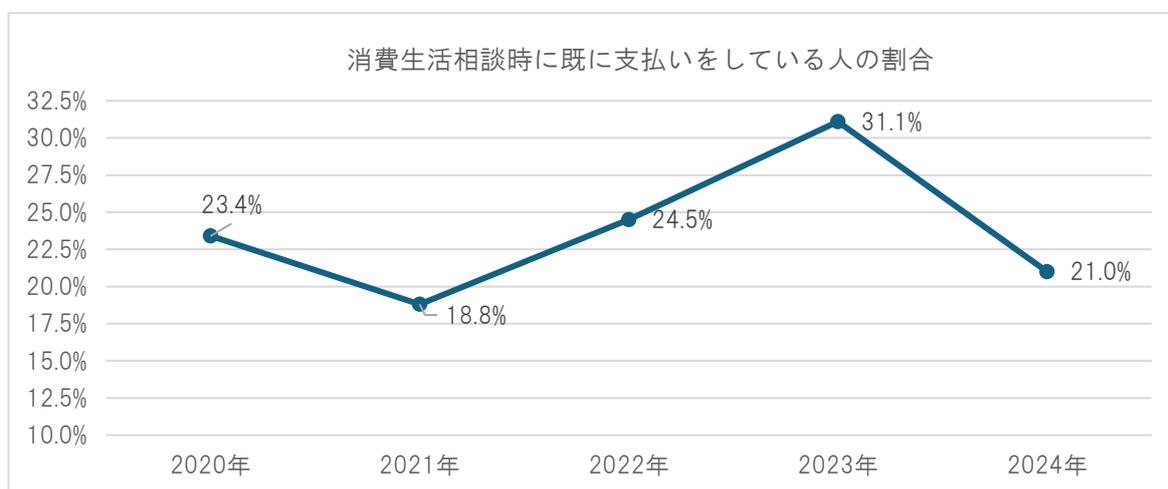


(g)

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
市民1人1日あたりのごみ排出量	776.7	766.8	788.2	785.2	772.6	754.9

[担当課保有台帳より作成]

## 8 消費生活相談時に既に支払いをしている人の割合 (KGI)



年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
消費生活相談時に既に支払いをしている人の割合	23.4%	18.8%	24.5%	31.1%	21.0%

[担当課保有台帳より作成]

8 【K G I】 目標値設定の考え方

指標	単位	過年度実績値 (R2年度)	現状値 (R7年度)	目標値 (R13年度)
二酸化炭素排出量	t-CO2	178,082	算定結果待ち	現在検討中
【目標値の考え方】	ゼロカーボンシティ宣言を行った中で、2050年カーボンニュートラルを目指し、宍粟市環境基本計画の改訂に伴う目標を設定する。(宍粟市環境審議会において議論)			
市民1人1日あたり のごみ排出量	g/日	766.8	754.9	740.0
【目標値の考え方】	一般廃棄物処理基本計画(R6策定)において、目標値を770g(R11)、740g(R16)と定めていたところ、想定を上回るペースで減量化が進められていることから、R16目標値を前倒しで達成することを目標とする。			
都市計画区域内人口	人	16,300	16,000 (R7見込み)	15,700
【目標値の考え方】	宍粟市マスタープラン記載の目標値(国勢調査を基にした推計値を上回ることを目標とする。)			
路線バスを利用した ことがある人の割合	%	—	17.9	28.5
【目標値の考え方】	路線バスを「利用したことがある」と答えた17.9%をもとに、「今後利用したい」と答えた21.2%の半分を目標値として設定する。			
消防団員数	人	1,396	1,040	現状維持
【目標値の考え方】	消防団員数は、過去10年間平均59人の減少であり、5年後の消防団員数は295人の減少と推測する。火災時はもとより災害時対応にも人員を要することから、現状維持の団員数確保をめざす。			
消費生活相談時に既に 支払いをしている 人の割合	%	23.4	21.0 (R6)	16.9
【目標値の考え方】	担当課保有台帳の過去5年間の実績及びひょうご消費生活プラン(令和6年3月)の目標設定を参考に、年間0.5%の削減を目標とする。			